

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-30℃～+85℃（注1）		保存温度範囲	-10℃～+60℃（注3）	
	使用湿度範囲	40%～80%（注2）		保存湿度範囲	40%～70%（注3）	
	電 圧	AC 250 V	UL・CSA	AC 30 V		
	電 流	2 A	定格	2 A		
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。		30 mΩ 以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ 以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗： 30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
機械的性能	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。		①接触抵抗： 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗： 500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → 5～15 → 30 → 5～15分 を 5 サイクル 試験する。		①接触抵抗： 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗： 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	半田耐熱性	【 自動半田（フロー）の場合 】 半田温度 260℃、10 秒間で試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごて 300℃、2 秒以内の条件にて 半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。		外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	○	—
	半田付け性	半田温度 230℃、浸漬時間 3秒間の 半田付けを行なう。		半田浸漬面の 95 %以上が 新しい半田で濡れていること。	○	—
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
△						
備考 (注1)通電時の温度上昇を含みます。 (注2)結露のないこと。 (注3)基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				承認	TY.OMA	05.03.31
				検 図	HK.UMEHARA	05.03.29
				担 当	IO.DENPOUYA	05.03.29
				製 図	FK.MATSUKI	05.03.29
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番	SLC4-020822-03	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF11-18DP-2DSA (08)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL543-0524-0-08		
					△	1/